

1 学校教育目標

- ・よく考え 進んで実行する子
- ・なかよく助け合う子
- ・心も体もきたえる子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	・自ら学び、自ら考える力と、学ぶ意欲を育成する学校 ・心と体の健康づくりを進め、豊かな人間関係を育成する学校 ・特色ある学校づくり、開かれた学校づくりを進める学校 ・児童、保護者、地域と共に学び、信頼し合う学校
○児童・生徒像	・自ら学び、考え、判断し、問題を解決しようとする児童 ・素直で明るく、優しく、進んで挨拶ができる児童 ・お互いに、心を耕し、体を鍛え、高め合う児童
○教師像	・子供の心が分かり、熱意と使命感のある教師 ・どの子も分かる喜びをもてる授業をつくり、自らも学び続ける教師 ・組織人としての自覚をもち、主体的に学校運営に参画する教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題**《現状》**

○学校…基礎的・基本的事項の徹底を重視し、学力の向上に努めている。特色ある教育活動として、伝統的・文化的活動を積極的に進めている。

○児童…明るく素直な児童が多く、地域・PTA行事にも意欲的に参加している。家庭と連携しながら、基本的生活習慣の定着に努めている。

○教師…日々の教育活動に熱心に取り組んでいる。若手教員が多いため、校内OJTを充実させ、研究・研修を通して、指導力の向上を図っている。

○地域・保護者…創立115年の伝統が、地域の大きな力に支えられている。PTA活動も活発であり、開かれた学校づくり協議会、放課後子ども教室、各種ボランティアなど、学校教育への理解が厚く、協力的である。

《成果と課題》

○学力向上「授業力向上校」の指定を受け、学力向上委員会を中心として、全校で基礎学力の向上を図ってきた。基礎的な内容の定着が不十分な児童に対して、個に応じた指導の充実がなお必要である。日々の授業改善と、教師の指導力の向上が求められる。小中連携による共同研究を進める中で、教科の系統性や指導法の共通理解を深めてきた。体験的活動の一層の充実を通して、基礎的事項を児童が主体的に活用する学習を目指していきたい。

○健康な心身の育成

挨拶を重視して、あたたかな人間関係を育ててきた。児童は全般的に明るく元気に生活しているが、些細なことからのトラブルもあり、思いやりの心をさらに育てていきたい。いじめや不登校傾向、児童の生活指導上の問題行動等には全校で共通理解を図りながら、組織的に対応するよう努めた。運動好きの児童が多く、年間を通じた体育的活動や区のスポーツ大会での活躍も見られたが、体力テストの結果は全校的に低い。運動経験の二極化に対応した日常的な運動の場づくりが必要である。

○保護者・地域との連携

PTAや開かれた学校づくり協議会の行事も活発に行われ、教員も積極的に協力できた。学校便りの形式を変えて学校からの情報の発信を重視したが、学校評価アンケートの回収率には反映しなかった。評価結果の返し方にも工夫をしていく。地域内の幼稚園・保育園とは、積極的な交流を行うことができた。

4 重点的な取組事項						
番号	内容	実 施 期 間				
		26	27	28	29	30
1	学力向上	○	○	○	○	○
2	健康な心身の育成		○	○	○	○
3	家庭・地域との連携		○	○	○	○

5 平成28年度の重点目標

重点的な取組事項－ 1		学力向上
A 今年度の成果目標		平成２８年度区学力調査 目標通過率（学校平均）
全校で、基礎的基本的内容の定着に向けた授業改善と、学力向上に関する取組が計画的になされていること。		国語７８％、算数８０％
B 前年度の取組み内容		
項目	具体的な方策	
基礎的な内容の理解の徹底	・ 習熟度別指導の徹底（けやき教室・学習ボランティア） ・ パワーアップタイム・放課後けやき教室の充実 ・ そだち指導員制度の効果的実施 ・ 夏季休業中の補充学習	
中学校との合同研究	・ 小学校・中学校の合同学習指導案作成研究会（４回） ・ 合同研究授業の実施（２回） ・ 教科別相互公開授業・全体協議会（４回）	
教員の指導力向上	・ 講師を招聘しての校内研究授業（８回） ・ 年次研修への全員参加・若手研修会・区小研への参加	
体験的活動の充実	・ 国際理解教育の実施 ・ 外部人材の活用（ゲストティーチャー） ・ 伝統的文化に触れる活動（落語・将棋・百人一首等）	
C 前年度の成果と課題		
基礎的な内容の定着と教師の指導力の向上、日々の授業改善を中心として、学力向上に取り組んできた。朝のパワーアップタイムの改善や、基礎定着のための「けやき教室」の充実などによって、区学力調査目標値通過率の年度末の数値にも成果がみられた。保護者や地域の学習支援ボランティアの協力を生かし、習熟度別の個に応じた指導をより積極的に進めていく。学力定着指導員の指導により、若手教員の指導力向上と校内研究の充実を図った。授業研究を今後も活発に行い、授業力の向上と、児童の活用力向上を含めた授業改善を進めていく。連携中学校との合同研究を段階的に深めてきたが、今後も児童・生徒理解に基づき、教科の系統性や指導法の共通理解、共通実践に取り組んでいく。		
D 今年度の目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
基礎的な内容の理解の徹底	区学力調査、年度末の目標 通過率９０％以上	・ 習熟度別指導の徹底 基礎基本の時間「けやき教室」年間３ ０回・学習支援ボランティアの活用 ・ パワーアップタイムの充実 国語・算数・読書（週３回２０分間） ・ 放課後けやき教室の充実 個別指導による補充学習（週１～２回） ・ そだち指導員制度の効果的実施 学力ポートフォリオの活用 ・ 夏季休業中の補充学習（１０日間） ・ 漢字検定への取組（年２回）

小中連携による合同研究	小2校・中1校による合同研究会を8回以上実施	・合同学習指導案作成研究会(9分科会別・3回以上)。 ・合同研究授業(9分科会別・3回)。 ・相互公開授業・全体協議会(2回以上)
教員の指導力向上	授業研究・研修会を15回以上実施	・講師を招聘しての校内研究授業(8回) ・年次研修への全員参画(1～4年次) ・若手研修会(経験6年目以下) ・足立スタンダード、活用力向上研修会 ・区小研への全員参加
体験的活動の充実	各学年2回以上、学校全体3回以上実施	・国際理解教育、キャリア教育 ・外部人材の活用・外部機関との連携 ・伝統的文化に触れる活動(落語・将棋・百人一首・狂言等)

重点的な取組事項－2		健康な心身の育成
A 今年度の成果目標		達成基準
自他を認め、尊重する態度、あたたかな人間関係が、各学級を基盤に定着していること。年間を通した体力向上へ向けての取組が積極的になされていること。		学校評価アンケート「児童の様子」の肯定的評価90%以上。都体力調査、全学年男女都平均以上か同程度。
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
挨拶の励行	学校評価アンケート「挨拶」の肯定的評価90%以上	・登校時や来校者への挨拶の徹底。 ・家庭・地域への働きかけ
いじめの根絶・不登校の解消	全校体制としての課題の早期発見・組織的対応	・いじめ防止対策委員会、特別支援校内委員会の活性化 ・スクールカウンセラー・関連機関との連携
体育的活動の充実	業間における体力向上への全校的取組、年間4回以上	・長縄・短縄・マラソン月間 ・校庭遊びの奨励

重点的な取組事項－3		家庭・地域との連携
A 今年度の成果目標		達成基準
学校・家庭・地域の中に、「家庭・地域と共に育つ学校」という共通意識がもたれていること。		学校評価アンケート「連携について」の肯定的評価85%以上
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
保護者による年間2回の学校評価の実施	2回の学校評価アンケートの平均回収率70%以上	・夏休み前・冬休み前の年2回アンケートの実施。変容の分析と課題への迅速な対応・改善
P T A・地域行事等への教職員の参加・協力	全教職員が年間2回以上いずれかの行事に参加	・P T Aまつり、地域行事、開かれた学校づくり協議会活動等への計画的な参加
幼稚園・保育園との連携	2幼稚園・1保育園との連携活動の推進	・公立保育園への全員参観、交流活動、行事への参加、教員の交流研修等の計画的な実施
創立115周年に関連した地域との連携	各学年に応じた「地域で、地域を、地域から」学ぶ学習の実施	・地域をフィールドとした学習 ・地域人材によるゲストティーチャー ・郷土資料室の整備・活用
各種ボランティアの拡充	図書ボランティア・学習支援ボランティア・将棋ボランティアの増員	・学校便り・H P・保護者会等での発信 ・地域への依頼